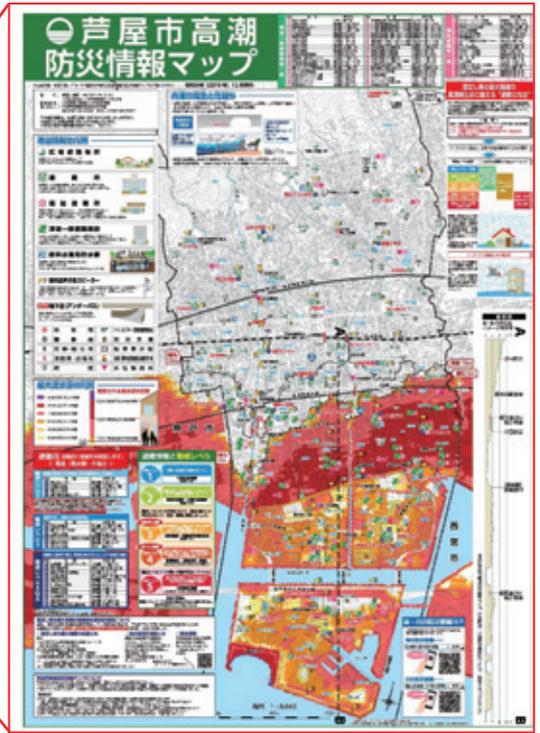
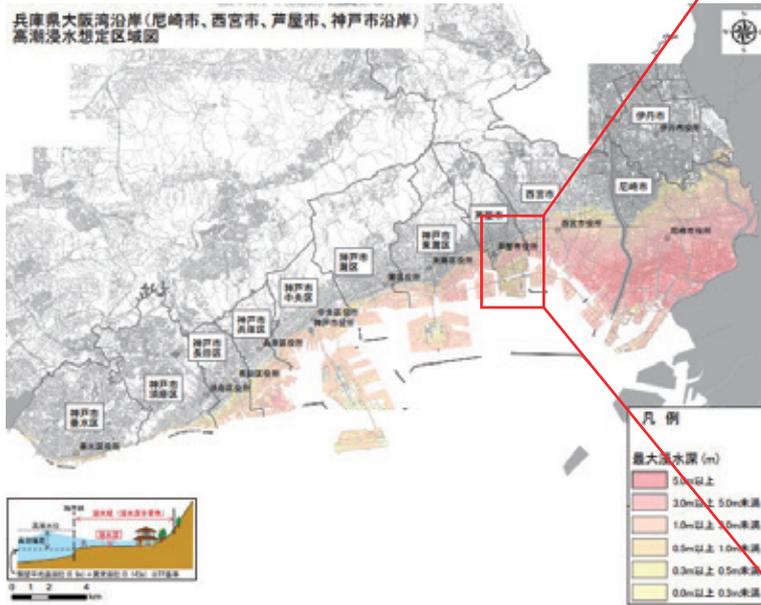


浸水想定区域図・ハザードマップ で高潮時の被害の軽減を図る (兵庫県、芦屋市)

事業者：兵庫県、^{あしや}芦屋市



対策名： No.92 高潮対策等のためのソフト対策に関する緊急対策

事業名： 津波・高潮危機管理対策緊急事業

- ポイント**
- 都道府県が高潮浸水想定区域図を作成・公表
 - 高潮浸水想定区域図に基づき、沿岸市が高潮ハザードマップを作成・公表
 - 高潮ハザードマップを利活用し、避難訓練等を実施することにより、住民等の的確な避難の確保に寄与

地域の概要・課題

兵庫県の大阪湾沿岸は、ゼロメートル地帯が広がっているとともに、人口・資産が集積しています。

過去には、室戸台風（昭和9年）、ジェーン台風（昭和25年）、第二室戸台風（昭和36年）などにより、高潮被害が発生しました。これらの高潮被害を踏まえ、海岸保全施設等の整備を進めてきました。しかし、平成30年台風第21号では、観測史上最高の潮位・波浪を記録し、沿岸部で浸水被害が発生しました。

事業の概要

平成30年台風第21号による浸水被害を踏まえ、兵庫県は3か年緊急対策事業を実施し、大阪湾沿岸における高潮浸水想定区域図を令和元年8月、9月に順次公表しました。

また、同年12月、兵庫県が作成した高潮浸水想定区域図に基づき、兵庫県芦屋市において高潮ハザードマップ（高潮防災情報マップ）を公表しました。

【見込まれる効果】

兵庫県が作成した高潮浸水想定区域図に基づき、沿岸市において作成・公表した高潮ハザードマップを利活用し、定期的な防災訓練や避難訓練、情報伝達訓練、防災教育、住民自ら手を動かす取組等を行うことにより、水害リスクに関する理解を促し、住民等の的確な避難の確保が図られます。



災害図上訓練の実施のイメージ
(出典：水害ハザードマップ作成の手引き)